

場内物流改善体制の構築に向けた研修会

金沢市中央市場運営協会は、場内物流改善体制の構築に向け、農林水産省から講師を招き、研修会を開催した。卸・仲卸・運輸会社を中心に約80人が参加し、現在の物流が直面する問題点とその改善のために、中央卸売市場で取り組むことについて理解を深めた。

研修会の最後には参加者を対象にアンケートも行われ、当市場の場内物流の改善点を分析した。（結果は次ページ以降）

2023年（令和5）2月14日（火） 金沢市中央卸売市場管理事務所2階 大会議室



講師 農林水産省大臣官房新事業・
食品産業部食品流通課卸売市場室長

丹菊 直子 氏

講演要旨

輸送力3割減？ 1年後に迫る「2024年問題」！ 国は対策の一つとして、 卸売市場の場内物流改善を強く求める

2024年度からトラックドライバーの拘束時間の上限規制が厳しくなり、ドライバー確保がますます困難になる「2024年問題」が約1年後に迫っている。2019年度データを基にした調査では、農産・水産品出荷団体において不足する輸送能力の割合は、全産業の中で最も高い32.5%とも示されている。

農林水産省は対策として、全国の流通業で共通サイズのパレットを導入する「物流の標準化」や荷下ろしの待ち



研修を受ける参加者

時間を軽減する「トラック予約システム」の導入を推進。2022年には青果物流通標準ガイドラインを作成し、効率的な流通に適したパレットの規格や運用方法を提言している。

また、同省は全国の中央卸売市場にも場内物流改善体制の構築を求めており、各市場でパレット管理のルール化や問題点の洗い出し、改善策を検討する会議体の設立などを推奨している。

キーワード解説

物流の2024年問題

働き改革関連法により、2024年4月からトラックドライバーの時間外労働が規制されることで起こる、長距離輸送能力の低下などの問題。荷主の指示が原因で規制違反が行われた場合、荷主が大臣の勧告を受け、社名が公表されることも。

物流の標準化

パレットの標準化、伝票の標準化、外装の標準化、データの標準化の主に4つを掲げ、物流の効率化を図る。

パレットの標準化 → 業界全体でパレットの共通規格を設け、運用することで荷役作業の効率化、トラックへの積載効率を向上

伝票の標準化 → 荷主、荷受、仲卸など、業界全体で記載項目を統一した標準伝票でやりとりすることにより、検品や事務作業を効率化

外装の標準化 → 商品の外装品サイズを規定 統一し、パレット等に積載する作業効率や保管効率を向上

データの標準化 → 物流事業者と着荷主の間で商品データを共有し、納品時の賞味期限の確認といった検品や荷卸し作業を効率化

◆ 当市場の場内物流の実態に迫った研修参加者アンケートの結果は次のページから

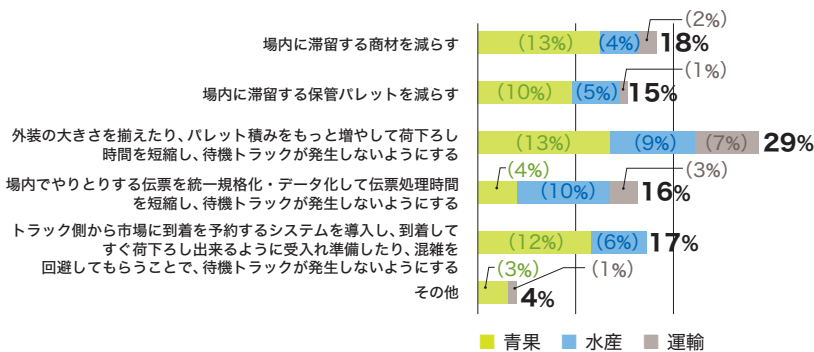
金沢市中央卸売市場 場内物流課題に関するアンケート報告

研修会終了後、参加者に本市場の場内物流改善に向けたアンケートを実施しました。回答者の合計は64人で、内訳は、青果の荷受12人、水産物の荷受・荷役・冷蔵会社10人、青果の仲卸・その他業者21人、水産物の仲卸・その他業者10人、運輸会社11人です。

本市場の課題

共通アンケート

1. 本市場において、場内物流の効率化のため現時点で改善すべき点 (複数回答可)



コメント

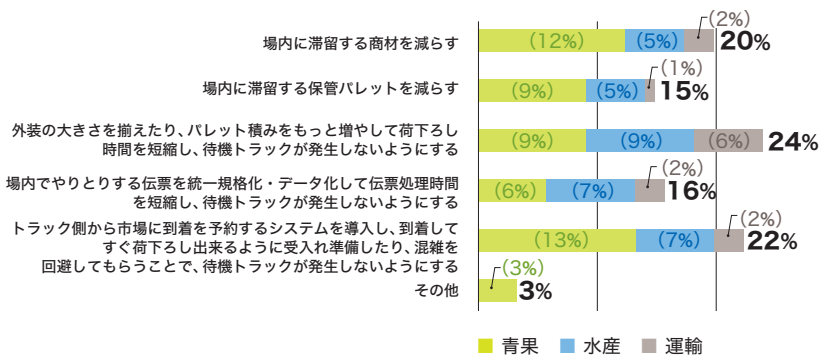
- ・物流の効率化を図るための現状の改善点として、全体の30%が「外装の大きさを揃えたり、パレット積みをもっと増やして荷下ろし時間を短縮し、待機トラックが発生しないようにする」と回答。
- ・水産物部は「伝票の統一規格化・データ化による伝票処理時間の短縮し、待機トラックの発生を防ぐ」との回答が10%を占め、青果部や運輸会社との間で意見にばらつきが出た。

※その他の回答

パレット管理体制の整理・簡素化、動線の改善とパレット保管場所新設、悪天候及び朝の混雑に対応し、さらに効率の良い荷下ろし場所の整備、荷の積下ろし場所を割り振って固定する

共通アンケート

2. 今後の市場再整備により、これからの本市場にて改善を目指すべき点 (複数回答可)



コメント

- ・Q1の現状と同様に、最も回答が多かったのは「外装の大きさを揃えたり、パレット積みをもっと増やして荷下ろし時間を短縮し、待機トラックが発生しないようにする」の24%。
- ・青果部では、13%がトラック予約システムを導入を挙げた。一方で、水産物部や運輸会社では伝票処理時間の短縮を挙げる回答が青果部より多く、意見にばらつきが出た。

※その他の回答

動線の単純化(上から下以外も)、動線の改善とパレット保管場所新設、場内物流動線や保管方法をしっかりと考え、スムーズな入出荷と商品特性に応じた適切な待機日数管理等

共通アンケート

3. 国が推進する物流標準化対策のうち、当市場での優先順位が高いと考えるもの

- 1位 荷下ろし・荷捌き・荷積等の場所等の施設整備
- 2位 取引のデジタル化・データ連係による業務の効率化
- 3位 パレットの循環体制構築
- 4位 トラック予約システムの導入

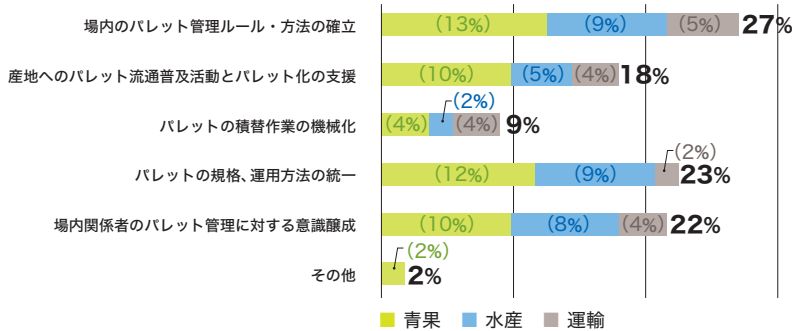
コメント

- ・荷下ろし・荷捌き・荷積等の場所等の施設整備」の優先順位が1位で、市場再整備を控える当市場らしい回答結果となった。

※算出方法：回答に応じて、1位=1点、2位=2点、3位=3点、4位=4点として回答を集計し、得点の少ない順に順位決めたもの。

共通アンケート

4. 「パレットの循環体制構築」実現に必要な項目のうち、優先順位が高いと思う項目（複数回答可）



コメント

・パレット管理状況の改善を訴える声が多く、関係者全体のパレット管理意識向上と管理ルール作りを優先するべきとの回答結果。

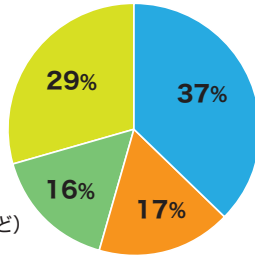
※その他の回答

パレットを有償化・換金可能化、全国的な仕組みと平等なルール（の設定）

共通アンケート

5. 当市場の場内物流の改善を検討する方法について

- 新しく協議する体制をつくる
- 市場再整備における、既存の協議体制を活用する
- 既存の組織を活用する（運営協会の交通警備委員会など）
- 開設者が必要に応じて、関係者を集めて会議を行う



コメント

・改善体制について他市場でもばらつきがある中で、当市場では、新しく協議体制を設ける結果が37%と多数を占める。

各社の現況

共通アンケート

6. 場内で行っている作業について（複数回答可）

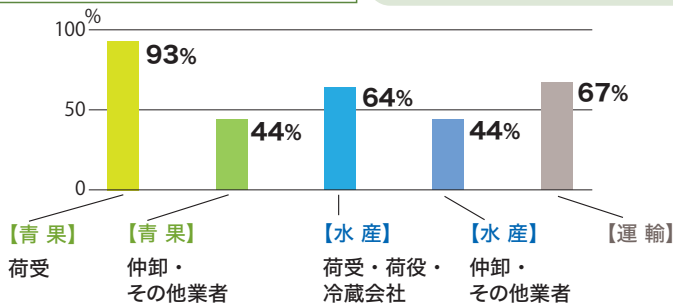
場内での主な作業内容

- ・ 運送車両（トラック）からの荷下ろし
- ・ 場内に置かれた荷物の移動
- ・ 場内に置かれた荷物の場外への移動
- ・ パレットの回収・集積
- ・ パレットの管理

コメント

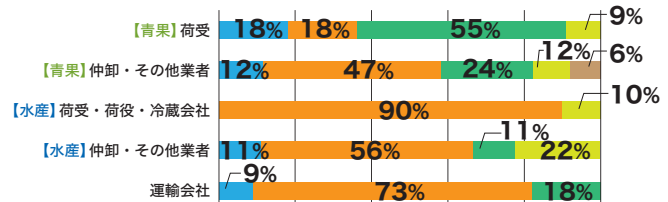
・荷受・荷役業者は、ほぼ何でもやっているとの回答が多く、仲卸業者はトラックから下ろされた荷の移動等の作業が中心で、パレットの管理はほとんどしていないとの回答。運輸会社はトラックの荷の積み下ろしや、パレットの管理をしているとの回答。

※算出方法：場内での主な作業内容5項目に対し、実際に行っている作業を複数回答。有効回答者の作業量の割合を業界別に平均で割り出した。



共通アンケート

7. 場内で行っている作業のコスト負担について（複数回答可）



- 作業のコストは価格に十分に反映出来ており、自社に負担は生じていない
- 作業のコストの一部は価格に反映できず、自社に負担が生じている
- 作業のコストを全く価格に反映できず、自社に負担が生じている
- そもそも場内作業のコスト負担を伴わない
- その他

コメント

・価格に十分に反映できず、自社負担が生じているとの回答が8割以上を占めた。

共通アンケート

8. 場内物流改善に向けて、ご協力いただけることを教えてください

- 青果仲卸 荷下ろし場所の確保等
- 青果荷受 市場関係者へのパレット管理意識の啓蒙等
- 青果荷受 荷受とトラックとのDX化（混雑回避・入場後のスムーズな誘導）等
- 青果仲卸 ルールの遵守。パレット回収及び集積保管場所への移送
- 水産荷受 パレット返品及び集荷等
- 運輸会社 パレット管理体制の整理・簡素化等

コメント

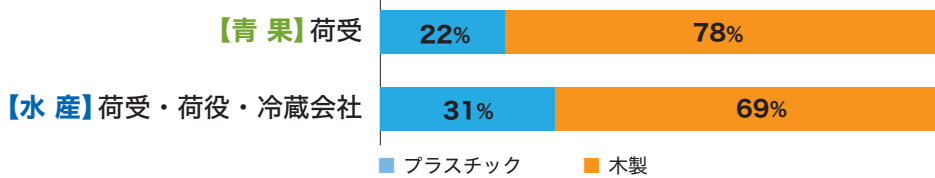
・場内のパレット管理に関する内容が多く、パレットの循環体制を構築する上でもまずは、場内の管理ルールの形成やスペース確保といった環境構築からとりかかることが必要。場内に商材やパレットの滞留が見られ、物流改善が必要そうな青果部からは、さまざまな意見が挙がった。

積載方法及び荷下ろしに関して

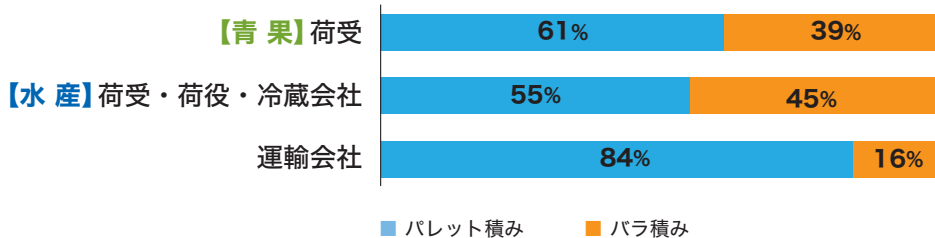
荷受・荷役・冷蔵会社及び運輸会社回答対象アンケート

9. パレットの使用状況について

■ パレットの材質について



■ パレットの積み方について



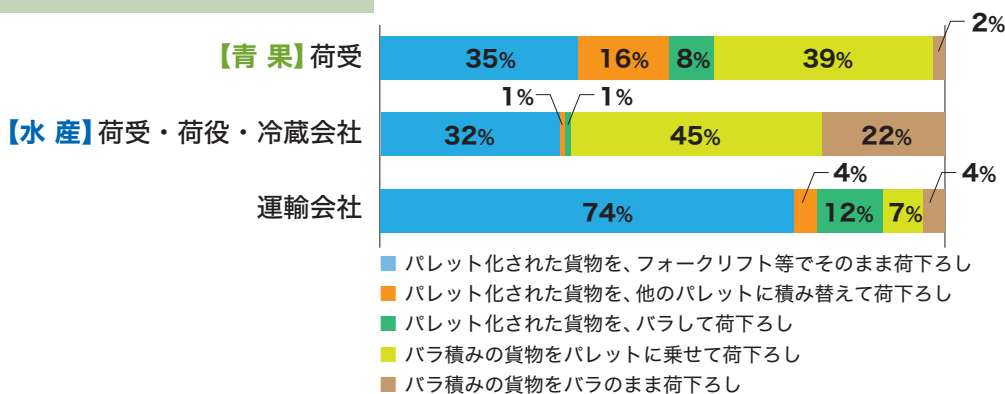
コメント

- ・使用しているパレットの材質については青果・水産ともに約70%が「木製」と回答。
- ・荷姿の割合について、運輸関係では、トラックの構造上、ほとんどが「パレット積み」と回答。着荷主都合による「バラ積み」のものも一部混在。

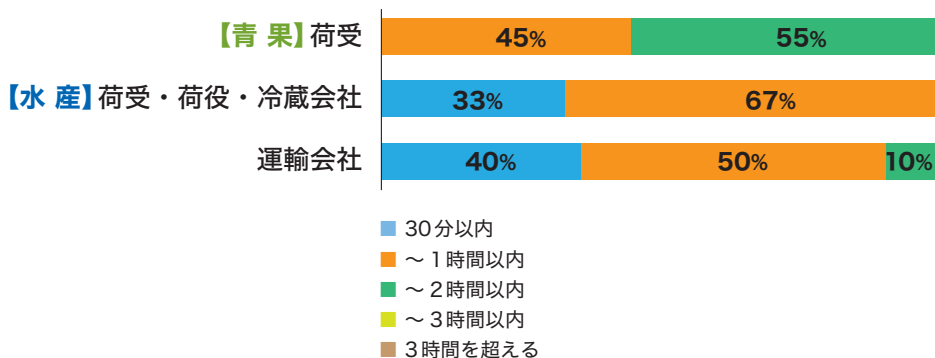
荷受・荷役・冷蔵会社及び運輸会社回答対象アンケート

10. トラックからの荷下ろしについて

■ 荷下ろし方法について



■ 作業時間について



コメント

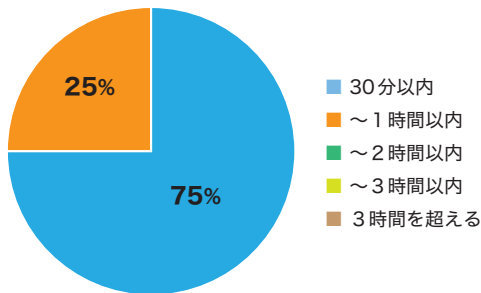
- ・荷下ろし方法について、運輸会社では74%が「パレット化された貨物を、フォークリフト等でそのまま荷下ろし」と回答。また荷受・荷役関係では約40%が「バラ積みの貨物を、パレットに乗せて荷下ろし」と回答。
- ・荷下ろし作業にかかる時間について、全体的に約50%が「1時間以内」に終了すると回答。

荷下ろし待機時間について

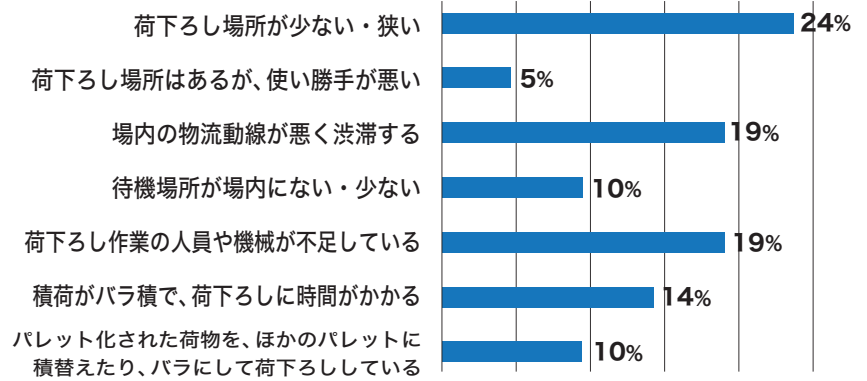
運輸会社回答対象アンケート

11. 荷下ろし待機時間と発生原因について

■ 当市場の荷下ろし待機時間について
(荷下ろし作業時間を除く)



■ 当市場の荷下ろし待機時間の要因について (複数回答可)



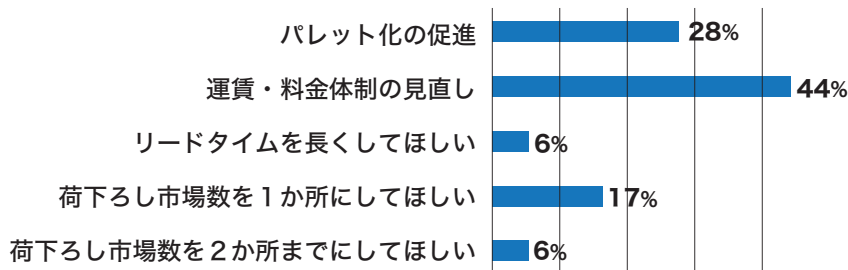
コメント

- ・当市場の待機時間について75%が「30分以内」と回答。
- ・当市場では周辺に市場関係者の物流拠点が整備されていることや水産物部のせり開始時間が全国的にも早く、青果部のせり開始までの間に時間的な余裕もあることから、他市場と比べると深刻なトラックの滞留問題は発生していない状況か…。

運輸会社からの改善・要望事項

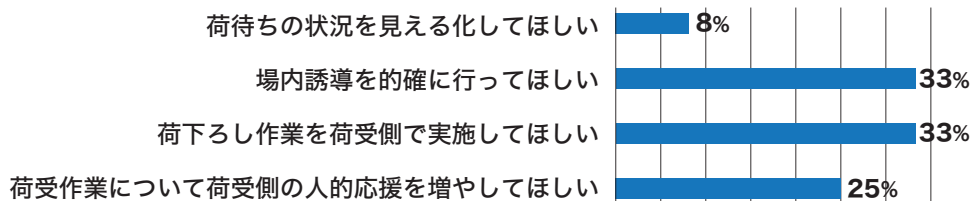
運輸会社回答対象アンケート

12. 運輸会社から出荷者への要望 (複数回答可)



運輸会社回答対象アンケート

13. 運輸会社から荷受けへの要望 (複数回答可)



コメント

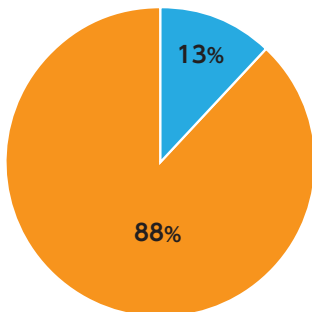
- ・運輸会社から出荷者への要望は、44%が「運賃・料金体制の見直し」を求める回答だった。
- ・荷受けへの要望は「場内誘導を的確に行ってほしい」「荷下ろし作業を荷受側で実施してほしい」との回答が33%で同率だった。

トラック予約システムに関して

運輸会社回答対象アンケート

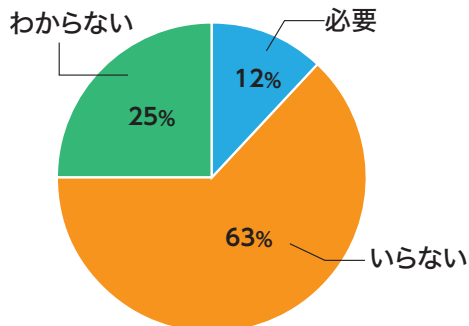
14. トラック予約システムの認知度と導入について

■ 他市場で利用したことがあるか



- 利用したことがあるが、今は使っていない
- 利用したことはない

■ 当市場でトラック予約システムは必要か



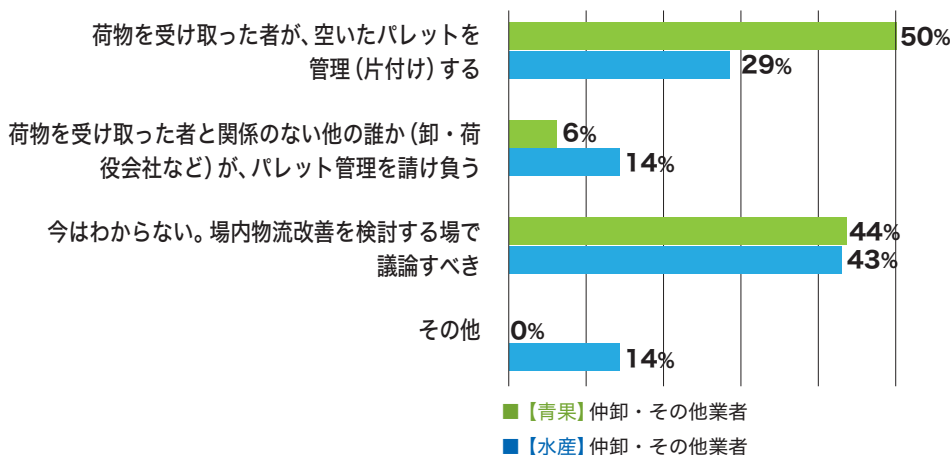
コメント

- ・他市場でのトラック予約システムの利用状況について、88%が「利用したことがない」と回答。
- ・当市場でトラック予約システムは「いらぬ」と回答した理由として、「荷受は予約通りに動けない」「豊洲では1年もたたないうちに使用されなくなった」等の意見があった。

仲卸・その他業者の現状について

仲卸・その他業者回答対象アンケート

15. 荷下ろして空になったパレットの管理(片付け)を誰が行うのがよいか



コメント

- ・背景として場内の仕組みづくりができておらず、パレットを整理する人がいないのが現状。また、パレットだけでなく、カゴ車についても同様に、ルール化されておらず、放置されているものが多い。所有者が不明な点も問題。課題は山積している。
- ・青果部と水産物部ではパレット管理に対する意識に温度差があるのも確認できる。
- ・空になったパレットの管理に関するその他の回答として、「荷物流れと逆に(パレットを)管理する」との意見があった。

仲卸・その他業者回答対象アンケート

16. パレット貨物の増加に対応できる当市場の体制づくりに向けての要望等について

- 青果 内向きならず、流通全体にも目をむける
- 青果 頑丈なパレット導入
- 青果 パレット料金の負担及び負担割合(の検討)、等
- 水産 免許不要のパレット運搬設備導入
- 水産 場内会議での検討
- 水産 パレット置場の管理ルールの明確化

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。